

## 「共存共栄」

皆さん初めまして、70期卒の共栄エンジニアリング株式会社の鷹木学と申します。

今回、コムレタの執筆を依頼されましたので宜しくお願い致します。

まずは、自己紹介させていただきます。

1972年1月生まれの52歳で、厚別区在住です。電気・電子機器の特注製品を設計・製作している会社で営業を担当しています。営業とはいっても技術営業を行っており、通常のセールスマンとは少し違います。簡単に仕事内容を説明すると、市販されているAV機器をお客様の運用に合わせて考え、より良く運用して頂くために、足りないものを自社で設計・製作しお客様へ提供する仕事です。因みに、大久保記念ホールの音響・映像設備をプロデュースさせて頂き、同友会大学をはじめ、様々な研修・セミナー等で運用して頂いております。

ホールに行った際には、思い出して頂ければ幸いです…。

さて、本題に入りますが、今回の題目の「共存共栄」について、辞書で調べると、「二つ以上のものが、争うことなく、ともに生き、ともに栄えること」とあります。私が思うに、我々中小企業に関わる全ての方が、共存共栄を目指す事が重要であると考えます。

その理由として、高度成長期を経て、今日に至るまで先人が築き上げてきた優れた知識、技術等を活用し企業も個人も発展出来たと思います。これからの時代は、先人方の残してくれた産物を継承し、新たな未来に向けた行動が重要であると考えます。

それは、一人では出来ません。中小企業に属する皆が、それぞれの得意分野を存分に生かし、協業する事により、大企業に負けにくいぐらいの仕事が出来るところです。

同友会では、異業種の方々が共育を通して皆で勉強し、道内産業の発展を目指して活動していますが、正に「共存共栄」そのものだと思います。私もその一員として、まずは自社の業界を繁栄させるべく、努力を惜しまないでやる事、同友会の方々と繋がりを持ち、道内の産業を協力して発展させる事を目標にしていきたいと思います。

決意表明のようになってしまいましたが、これ以上書くと長くなりそうなので、この辺にしておきます。今回の記事を読んで下さった方が共感して頂ければ幸いです。

また、何かの機会にお会いすることがあれば、声を掛けて頂ければと思います。

最後に、今回のコムレタ掲載に関して執筆依頼して頂いた、同友会事務局の小村氏に感謝です。同友会大学同窓会2024年度総会&研修会に参加し白羽の矢が立ち、執筆させて頂きましたが、同友会では学ぶことが沢山あり、自分の考えや行動に対しても、皆さんの経験や行動したお話を聴いたりすることで、今後の人生に大きく役立つと思いますので、是非、関わっていきましょう。

～ 追伸 ～

同友会大学 70期卒の皆さんへ連絡です。

コロナ禍もあり、皆で集まれる機会も少なかったので、同窓会（飲み会？）を行う予定です。

遠方の方も多いたとは思いますが、是非参加お願いします。

2024年8月10日  
共栄エンジニアリング株式会社  
鷹木 学 (70期卒)